

2019年度第3四半期 決算概況

ブロードメディア株式会社

2020年1月30日

本資料に記載されている、当社の現在の計画・見通し・戦略・確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しです。これらの情報は、現在入手可能な情報にもとづき経営陣が判断した予測が含まれております。実際の業績は様々なリスクや不確実な要素により、これらの業績見通しと大きく異なる結果となりうるため、これらの業績見通しのみに全面的に依拠することはお控えくださいますようお願い致します。



2019年度第3四半期 決算概況

トピックス

【参考資料】

・ 事業セグメント別の連結業績

第3四半期累計期間(4月~12月)の連結経営成績



(単位:百万円)(百万円未満切捨て)

	2018年度 第3四半期	2019年度 第3四半期	増減額	
売上高	8,301	8,433	/ 132	
営業利益	31	376	3 45	
経常利益	60	481	421	
純利益	△ 39	350	3 90	

通期 業績予想 (10月30日発表)
12,000
450
510
340

\ — 75 :	(H ())				
	進捗率				
	71%				
	84%				
	95%				
	103%				

概 況

<売上高・営業利益>

- 前年同期と比べ、売上高は増加、営業利益は大幅増益
- 利益率の低い「ネットワーク営業」の売上は減少
- 利益率の高い「コンテンツ」と「技術」の売上高は増加し、「放送」の利益率が 改善したことで大幅増益

第3四半期累計期間(4月~12月)の連結経営成績



(単位:百万円)(百万円未満切捨て)

	2018年度 第3四半期	2019年度 第3四半期	増減額	通期 業績予想 (10月30日発表
売上高	8,301	8,433	/ 132	12,000
営業利益	31	376	3 45	450
経常利益	60	481	421	510
純 利 益	△ 39	350	390	340

通期 業績予想 (10月30日発表)
12,000
450
510
340

	進捗率				
Г	71%				
	84%				
	95%				
L	103%				

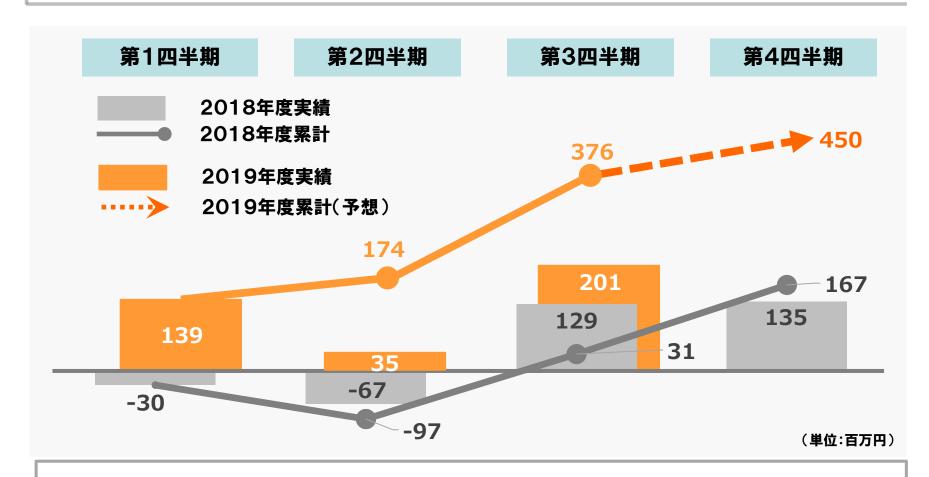
概 況

<経常利益·純利益>

- 大幅な営業増益に加え、上期に保険金の受領等があったこと等により、 経常利益も増加
- 経常増益に加え、上期に釣りビジョン社において地方税の還付があったことや、 損害賠償請求訴訟の一部解決金を特別利益に計上したこと等により、 純利益も増加

営業利益の推移





- 第3四半期末までは、想定を上回り好調に推移
- 通期の営業利益は、業績予想を十分に達成可能と見込む

事業セグメント別の連結経営成績~対前年同期~



(単位:百万円)(百万円未満切捨て)

	(単位・日ガラ八日ガラ木御切信で)					
	売	Ŀ	高	営	業利	益
	2018年度 第3四半期	2019年度 第3四半期	増減額	2018年度 第3四半期	2019年度 第3四半期	増減額
コンテンツ	1,768	2,237	469	34	202	167
放送	2,192	2,098	→ △ 94	147	230	82
スタジオ	1,669	1,820	150	△ 31	△ 64	→ △ 32
技術	1,934	2,162	227	321	370	49
ネットワーク営業	735	115	△ 620	24	△ 15	△ 39
全 社 費 用				△ 463	△ 346	117
合 計	8,301	8,433	132	31	376	345

- ✓「コンテンツ」の増収増益が連結業績を大きくけん引
- ✓「ネットワーク営業」は、大幅な減収減益

事業セグメント別の連結経営成績~対前年同期~



(単位:百万円)(百万円未満切捨て)

	(単位・日ガラ)(日ガラ木御切信()					
	売	Ŀ	高	営	業利	益
	2018年度 第3四半期	2019年度 第3四半期	増減額	2018年度 第3四半期	2019年度 第3四半期	増減額
コンテンツ	1,768	2,237	469	34	202	167
放 送	2,192	2,098	→ △ 94	147	230	82
スタジオ	1,669	1,820	150	△ 31	△ 64	→ △ 32
技術	1,934	2,162	227	321	370	49
ネットワーク営業	735	115	→ △ 620	24	△ 15	→ △ 39
全 社 費 用				△ 463	△ 346	117
合 計	8,301	8,433	132	31	376	345

- ✓ 第3四半期(10月~12月)は、「技術」が大幅増益を実現した
- √「全社費用」は前年度の特殊要因がなくなり大幅に減少
- ✓ 2020年4月に行う子会社6社との統合に向けた準備を進める

連結財政状態



資産、負債及び純資産の状況

(単位:百万円)

		2018年度	2019年度 第3四半期	増減額	増減率
総	資 産	6,557	6,807	249	4%
負	債	3,554	3,331	△ 223	△6%
純	資 産	3,003	3,476	472	16%
	自己資本	2,333	2,641	307	13%
į	非支配株主持分	669	835	165	25%
自己	己資本比率	36%	39%	-	

(百万円未満切捨て)

■ 総資産:番組勘定等が減少した一方で、現預金や売掛金が増加

■ 負債 :預り金が増加した一方で、買掛金や前受金が減少

■ 純資産:純利益の計上により、純資産は増加

■ 業績の改善に伴い、財務体質の健全化が進む

連結財政状態



キャッシュフ	キャッシュフローの状況		2019年度 第3四半期
	営 業 キャッシュフロー	△ 245	728
	投 資 キャッシュフロー		△ 250
財 務 キャッシュフロー		△ 49	△ 128
	現金及び現金同等物の増減	△ 298	352
	現金及び現金同等物の期末残高	1,317	2,225

(単位:百万円)(百万円未満切捨て) ※上記表中には「現金及び現金同等物に係る換算差額」は記載しておりません

営業キャッシュフロー

■ 前受金が減少した一方、たな卸資産の減少や解決金の受領、 過年度法人税の還付等により、プラス728百万円

投資キャッシュフロー

■ 固定資産の取得や貸付による支出、新たな提携先のCBを 引き受けたこと等により、マイナス250百万円

財務キャッシュフロー

普通社債(1億円)を発行した一方で、リース債務返済があったことにより、マイナス128百万円



2019年度第3四半期 決算概況

トピックス

【参考資料】

・事業セグメント別の連結業績

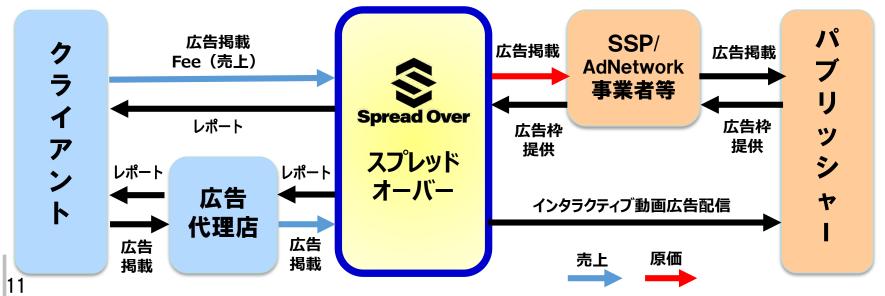




2019年12月 株式会社スプレッドオーバーのCBを引き受けた

https://www.spread-over.com/

- ① 当社CDNサービスの顧客・パートナー
- ② 独自開発のインタラクティブ動画配信プラットフォーム提供
- ③ 最後まで視聴される動画制作技術





NTTe-Sports社[※]のめざす「ICT × eスポーツ」による 地域社会への貢献に協力!

※NTT東日本が2020年1月21日に、eスポーツ分野における新会社「株式会社NTTe-Sports」の設立を発表

【この発表に応じて、当社は以下のエンドースメントを提出】

この度は、新会社ご設立の運びとなりましたことを、心からお祝い申しあげます。日本でもeスポーツ関連市場のさらなる成長が予想されるなか、新会社はまさに時宜にかなうものであり、今後のeスポーツの普及・発展に大きく貢献されることと確信しております。微力ながら弊社も、グループの事業として高校生向けにeスポーツコースを開講している強みを活かして、その一翼を担えるように努力してまいります。

eスポーツ(コンテンツ×技術)



2020年1月

プロeスポーツチームの譲り受けについて基本合意

CYCLOPS athlete gaming (サイクロプス アスリート ゲーミング)

⇒ 大阪を活動拠点とするプロeスポーツチーム



http://cyclops-osaka.jp/

- ① 国内でも五指に入り、特に大阪では知名度抜群
- ② ルネサンス高校グループが、これまでもスポンサーとしてサポート

教育事業をはじめ、クラウドゲームや配信技術との シナジーを創出し、eスポーツ関連事業の育成を目指す



2020年・春 新サービス開始!!

がMM 釣りビジョン VOD



※画像はイメージです。実際の画面とは異なります

視聴できる 5,000 本以上

毎月約100本が追加!

新番組は放送と同日に配信!

※一部、配信日時が異なる番組があります

放送とインターネット配信による 二本柱で業績を拡大

スタジオ(配給作品)



第70回ベルリン国際映画祭(ジェネレーション部門)正式招待決定!





ご清聴ありがとうございました



本資料に記載されている、当社の現在の計画・見通し・戦略・確信などのうち、歴史的事実でないものは、 将来の業績に関する見通しです。これらの情報は、現在入手可能な情報にもとづき経営陣が判断した予 測が含まれております。実際の業績は様々なリスクや不確実な要素により、これらの業績見通しと大きく 異なる結果となりうるため、これらの業績見通しのみに全面的に依拠することはお控えくださいますよう お願い致します



2019年度第3四半期 決算概況

トピックス

【参考資料】

・ 事業セグメント別の連結業績

事業セグメント別の連結業績 ~コンテンツ~



	売	£	高
	2018年度 第3四半期	2019年度 第3四半期	増減額
コンテンツ	1,768	2,237	469

営	業	利	益	
2018年度 第3四半期	2019年度 第3四半期 増減額		裁額	
34		202		167

(単位:百万円)(百万円未満切捨て)

- 教育サービスは、入学生徒数が過去最高となり増収増益
- デジタルメディアサービスは、広告収入やVODサービスが好調に推移したことで 売上高が増加し、黒字化
- クラウドゲーム事業の営業損失は縮小

- ◆クラウドゲームサービス
- ・クラウドゲーム 「Gクラスタ I
- スマホ向けクラウドゲームアプリ
- ・通信事業者向けプラットフォーム
- ◆デジタルメディアサービス ◆教育サービス
 - ・「クランクイン!ビデオ」
 - ・「クランクイン!コミック」
 - ・「クランクイン!」
 - ・「クランクイン!トレンド」

- - ・ルネサンス高等学校
 - ・ルネサンス豊田高等学校
 - ・ルネサンス大阪高等学校
 - ·日本語研修、日本語教師 養成講座の運営

事業セグメント別の連結業績 ~放送~



		売	£	高
		2018年度 第3四半期	2019年度 第3四半期	増減額
放	送	2,192	2,098	→ △ 94

営	業	利	益	
2018年度 第3四半期	2019年度 第3四半期		増減	額
147		230		82

(単位:百万円)(百万円未満切捨て)

- 売上高は、視聴料収入等が減少傾向にあり減収
- ▶ 継続したコスト削減の取り組みにより、営業利益は増益

◆釣り専門チャンネル「釣りビジョン」

- ·衛星基幹放送事業(BS放送)
- ・ケーブルテレビ局等への「釣りビジョン」の提供
- ・その他

事業セグメント別の連結業績 ~スタジオ~



				売	£	高
				2018年度 第3四半期	2019年度 第3四半期	増減額
ス	タ	ジ	オ	1,669	1,820	150

営	業	利	益	
2018年度 第3四半期	2019年度 第3四半期		増減額	
△ 31	4	^ 64	\	Δ 32

(単位:百万円)(百万円未満切捨て)

- 制作事業は、受注が増加し、増収増益
- 番組販売事業は、売上は増加したものの、原価率が上昇
- ▶ 映画配給事業は、引き続き苦戦が続く
- その結果、売上高は増加したが、赤字が拡大

◆制作事業

- ・日本語字幕制作
- ・日本語吹替制作
- •文字放送字幕制作
- ·番組宣伝制作

◆映画配給事業

- ・劇場映画の製作・配給
- ·DVD / Blu-rayの発売
- ・TV放映権の販売
- ・VOD権の販売

◆番組販売事業

・ハリウッド映画等のテレビ局への供給

事業セグメント別の連結業績 ~技術~



		売	£	高
		2018年度 第3四半期	2019年度 第3四半期	増減額
技	術	1,934	2,162	227

営	業	利	益	
2018年度 第3四半期	2019年度 第3四半期		増減	額
321	370			49

(単位:百万円)(百万円未満切捨て)

CDNサービスの既存顧客への新たなソリューションやサービスの提供が寄与し、 増収増益

▶CDNサービス

◆ホスピタリティ・ネットワーク ◆デジタルシネマサービス

- ・ブロードメディア®CDN CMオンライン ・ホテルの客室、会議室等への
- ・ブロードメディア・テクノロジーズ社の CDNサービス等
- インターネットサービスの提供
- ・ブロードメディア®CDN for theater
- ・配信機器等の販売及びレンタル
- ・VPFサービスの提供

- ◆その他ソリューションサービス
- ・プライベートネットワーク「Aryaka」
- ・対話型AIプラットフォーム「Passage AI」

事業セグメント別の連結業績 ~ネットワーク営業~



	売	Ŀ	高
	2018年度 第3四半期	2019年度 第3四半期	増減額
ネットワーク営業	735	115	→ △ 620

営	業	利	益	
2018年度 第3四半期	2019年度 第3四半期		増減	咸額
24	4	∆ 15		Δ 39

(単位:百万円)(百万円未満切捨て)

- ブロードバンド回線の販売(代理店販売)の苦戦が続き、大幅減収となり損失を計上
- 事業の再構築に時間を要している

◆ブロードバンド回線販売

◆ISPサービス販売

◆その他

事業セグメント別の連結業績 ~全社費用~



	営	業利	益
	2018年度 第3四半期	2019年度 第3四半期	増減額
全 社 費 用	△ 463	△ 346	117

(単位:百万円)(百万円未満切捨て)

前年同期に発生した一時的な費用(約150百万円)がなかった一方、 コンプライアンス強化やセキュリティ対策等に係る費用が発生

◆グループ本社(ブロードメディア)の管理部門に係る費用・損益

コンテンツ(教育事業)





2020年1月24日

ルネサンス高校グループ が 株式会社 A.ver と提携

~独自の勉強法(武田塾ルート)で志望校E判定からの逆転合格!~

日本初!授業をしない。



提携先とのパートナーシップにより 生徒たちの夢を応援

コンテンツ(クラウドゲーム事業)



航空管制パズルゲーム 『ぼくは航空管制官4 那覇』

スマートフォン・タブレット向けクラウドゲームアプリ 2020年1月30日(木)配信開始!





創造力が生み出す優れた作品やサービスを

広く社会に普及させ

より豊かなコミュニティーの形成・発展に貢献する



https://www.broadmedia.co.jp/



本資料に記載されている、当社の現在の計画・見通し・戦略・確信などのうち、歴史的事実でないものは、 将来の業績に関する見通しです。これらの情報は、現在入手可能な情報にもとづき経営陣が判断した予 測が含まれております。実際の業績は様々なリスクや不確実な要素により、これらの業績見通しと大きく 異なる結果となりうるため、これらの業績見通しのみに全面的に依拠することはお控えくださいますよう お願い致します